令和7年度石狩教育局
指導班通信

ISHIKARI
District Office of Education
北海道教育庁石狩教育局
令和7年7月 29 日発行　第2号

学校教育指導班（高校）

高校教育課 BRIDGE 構築事業

授業等研究セミナー

目　的

生徒が探究の過程において、各教科等の特質に応じた見方・考え方を総合的・統合的に働かせることができるよう、各教科等における探究的な学びの実現に向けた授業改善の取組を通じて、各高等学校における教科等横断的な教育の一層の充実を図る。

セミナーの主な内容

◆実施教科等

国語、数学、地理歴史・公民、理科、外国語（英語）、保健体育、情報、芸術、家庭、農業、工業、商業、水産、総合的な探究の時間、特別支援教育、生成 AI

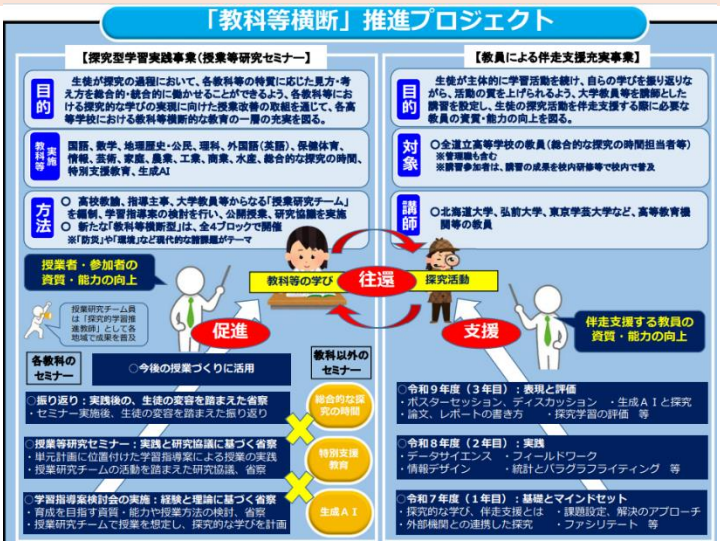
◆方法

○　高校教諭、指導主事、大学教員等からなる「授業研究チーム」を編成。学習指導案の検討を行い、公開授業、研究協議を実施。

○　新たな「教科等横断型」は、全4ブロックで開催　※「防災」や「環境」など現代的な諸課題がテーマ

「教科等横断」

推進プロジェクトの概要



BRIDGE 構築事業や授業等研究セミナーの内容については、
以下のページにアクセスしてください。
https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/223535.html

本事業の詳細については、後日、高校教育課のホームページで公開されます。
今年度から教科等横断型のセミナーも実施されますので、ぜひ本セミナーに参加し、各学校における授業改善の参考にしてください。（主査（高校教育担当）　鈴木　肇）

学校教育指導班（義務）

先生たちが必要とする様々な情報にアクセスできる「ISHIKARI ネット」を作成しました。

「授業づくり」や「生徒指導」などについて、実践動画や資料を収集しました。
個人での学びや学校での校内研修に活用してください。

社会教育指導班

熟議とテーマ

学校運営協議会が設置され、「熟議」が行われていますが、地域と学校で育てる子ども像を共有するところから、もう一歩、先へ進みませんか。今号では、より子どもの資質・能力を高めるための熟議について考えます。

学校運営協議会の目的(例)

学校運営協議会は、**学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議**する機関として、
（中略）
学校運営の改善及び生徒又は児童の健全育成に取り組むことを目的とする。

※参考「学校運営協議会」設置の手引き(令和元年度改訂版)
〈令和2年10月文部科学省〉

熟議テーマ

育てる子ども像を共有するための熟議のほか、

例１）全国学力学習状況調査の活用
問題を解くことの他、子どもたちが身につけるべき力について協議する。

例２）いじめ問題等の事例を活用
いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について地域で何ができるのか、具体的な事例について協議する。

「育てる子ども像」に向けて

学校教育をとおして、育成する力(資質・能力)を知ることが必要

■学びに向かう力、人間性等
■知識・技能
■思考力判断力表現力
■非認知能力など

学校運営協議会委員が自分事として捉え、地域と協働して

資質・能力を育成するための取組につなげる

子どもの安心・安全な学校生活や居場所、地域での取組につなげる

子どもたちの資質・能力を高めるため、「熟議のテーマ」や「熟議の進め方」などについて一緒に考えさせてください。学校運営協議会事務局との協議のほか、学校運営協議会等へうかがうことも可能です。社会教育指導班への要請を御検討ください。（社会教育主事　只 野 浩 太）